

# 高田援護室長の模型部屋(第7回)

皆さんこんにちは！さて、9月に入り、暑い夏も終わろうとしています。

子供の頃、夏休みにお小遣いでちょっと高いプラモを作った。そんな経験のある方も多いのでは？でも、汗を拭き拭き、手の脂に気をつけて組み立てる等、夏はプラモを作る時に気を使いますよね。

今では給料という名のお小遣い(笑)でプラモを買い、勉強や部活で忙しい娘達の前で、せっせとプラモに打ち込む父…逆ならば「いつまでも遊んでないで勉強なさい！」となるのでしょうか、大人ってずいと言われてしまいますね。さて、今回は…

## 89式中戦車乙型です。



キットはファインモールドさんのもので、模型雑誌に付録として付いていたものです。早く市販されればいいのと思っていたら、アニメ「ガールズ・アンド・パンツァー」の登場車両として発売されました。いや、塗装すれば同じなんですけど…ちゃんとしたキットの発売が望まれます。

このキットが発売される前は、ガレージキットでの発売のみであり、入手困難な上に高価で、貧乏モデラーにはなかなか手が出ないのが現状でした。そこへ「アーマーモデリング」のマガジンキットとして発売され、3冊購入で1両出来るという代物でしたが、すぐに購入を決めました。

無骨な形で中世の騎士のような印象を受けるこの戦車。戦場に投入された頃は火力も速度も諸外国に後れを取っており、このような戦車で戦わなければならない当時を思うと、胸が痛くなります…



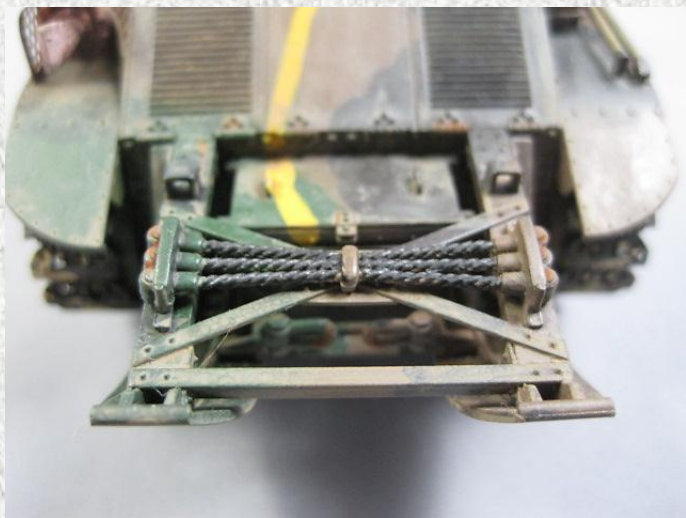


キットはストレート組み・・・といきたかったのですが、別売りのエッチングパーツのマフラーカバーや組み立て式履帯など、手を加えてしまいました。今回の模型雑誌「アーモーマデリング」の付録(マガジンキット)でも、3巻そろえないと作れないので、一万円弱かかってしまいました。ガルバン仕様では、もっとリーズナブルなお値段ですけどね。貧乏モデラーにはつらい・・・(泣)



塗装はGSIクレオスの日本陸軍戦車色セットを使用しました。筆で境界線を塗った後にエアブラシで塗装しました。筆塗りの箇所が少し盛り上がってしまいました。かなり薄めて塗ったのですが・・・なかなかうまくいきません。





基本塗装の上からタミヤのスミ入れ塗料を流し込み、凹凸を明瞭にして、ウェザリングスティックで泥と埃をのせるいつものパターンです。ところどころにパステルコンテの茶色で錆を表現し、風雨により下に流れた表現を、牽引ワイヤーは鉛筆でメタル感を表現しています。



複雑な足回りなので、泥もかなり付着したんだろうと思いますが、ここはあえて控えめにして、風雨により泥が流れ落ちたような表現にしてみました。履帯はモデルカステンの連結式にしましたが、使用して正解です。撓みがリアルです。





戦車兵はファインモールドの日本戦車兵セットのものを使用しました。どの日本軍戦車にもぴったり収まる彼(笑)は重宝します。

戦車兵が乗ることで、模型も躍動感が出ます。私はなるべくフィギュアを乗せるようにしています。適当なのが無ければ仕方ないのですが。なんか、一人乗るだけでもドラマが広がりますよね。



私の好きな砲塔を横に向けて疾走する戦車のアングル・・・あれ、なんか迫力無いな。やはり短砲身の戦車にはちょっと向かないのかな(笑)さて、今回はここまで。またお付き合いくださいね。